

◎基本選挙人名簿
の縦覧期間
11月19日まで

第八回臨時町議会ひらく

十月二十日、第八回臨時町議会が招集され、主として災害救助関係の議案について審議された。

まず、第一回追加更正予算（総額二二八万余円）を上程、これは、二十二

恒例の町運動会の開催について、十月三十日の町議会
意見を聞いたところ、災害直後ではあり、いろ／＼な都合
で本年は中止した方がよいという意見が強く、本年は中止
することになりました。

救援物資を配分

22 号 台 風 罹 災 者 に

施設災害の復旧に、国有の杉立木二五〇石を払下げようというもので原案通り決定。五六号議案一般財政資金の借入限度の増額の件（三〇〇万円を四〇〇万円に）五七号議案風倒木風折木の処分案（松、杉、檜など一四九九本、八生活必需物資七三、三六〇円相当額、学用品四八、八八〇円相当額）で、この外応急仮設住宅一六戸、家屋補修費六七万円などの枠も決り、近く救助実施の見込である。

（写真は学用品の配分風景）

14,951人

昭和30年 国勢調査終る

昭和三十年国勢調査は、調査員はじめみなさんのご協力だけで、調査事務が終了しました。ご協力、有難うございました。

| 校 区 別 | 世帯数 | 人 口 | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 大 根 占 | 1,492 | 3,335 | 3,595 | 6,930 |
| 神 川 | 737 | 1,802 | 1,899 | 3,701 |
| 池 田 | 456 | 1,227 | 1,250 | 2,477 |
| 宿 利 原 | 378 | 932 | 911 | 1,843 |
| 計 | 3,063 | 7,296 | 7,655 | 14,951 |

この数字は殆んど確実に近いものですが、総理府統計局の審査後確定するので、変更があるかも知れません。

米の希望配給を実施

十一月は三日分

十一月から、今までの一般配給の外に消費者の希望によつて更に加配されることになりました。

1、消費者は全部受配資格があり通帳を配給店に持参すればよい

2、農家は、保有米がなくなつて

3、値段は一キロ八四円五〇銭で受配できない。

4、配給量は十一月分は基準配給量の三分以内です。

米の配給店の登録変更

申請は十五日までに

建物を建てる時は

かならず届出を

建築物を建築するときは、都市計画区域内外を問はず、確認除外区域であつても県内全部について、必ず工事に着手しようとする前に建築施工者（請負人、大工等）が、又建築物を除却したときはその建築物の除却の工事を施工した者が知事に届け出るようになる（建築基準法第十五条第一項）。

（様式）各市町村役場にあります。これは建築物の動きを統計し、災害、滅失等とあわせて県内の建築物の物態を知り、公営住宅、公庫住宅等の調査等の資料にもなるものであるから、市町村民の皆様にわたされてもこの主旨をおくみとりの上建築着手届及び除却等の提出をお忘れなく実施して下さいようお願いいたします。なお、この届出をせず、又は虚偽の届出をした者には罰則の適用がありますから違反のないようにお願いします。

美事なできばえ

道路品評会終る

今回、県主催の道路
品質会が行われ、今
風直後、いろ／＼復
旧にお忙しい折に補
修作業をやつてい
だきました。と、こ
に大根占校区の馬場
地区と田代街道の受
持は、筆置さんなど
がその努力を賞讃さ
れました。近く表彰
式が行われますが、
ご協力に厚くお礼申
し上げます。

(写真左)審査の一行

モチ米を出しましょう

正月用のモチ米は、毎年集荷量が少く、婦人会などの協力でどうにか配給量を確保していますが、今年も消費者のために、ぜひモチ米を少しずつでも売渡して下さるよう、お願いいたします。

本町の集荷目標は四八石で、出荷期限は十二月三十日までです。

価格は、玄米一畝（六〇〇匁）につき四五〇円が加算されます。

公民館主事に

牛飼兵介氏

今回公民館主事権元武人さんは、
鹿屋市教育委員会社会教育課に勤
務されることとなり、後任に役場
経済課宿利原駐在農業技術員牛飼
兵介さんが十一月一日付で発令さ
れました。

大根占
町の郷土史

地 続

禰寝氏領主時代（鎌倉—室町）
五、元寇役と禰寝氏の活躍

北端まで約九十里の道程を入夫を
繰出し、大隅山より切り出した木
才其の地を量を重ねて方量する

○統後の姿
もつゝもつゝこゝにだけしたもつ
「蒙古、来、蒙古、来、竹下、蒙古、
来、ひらん、こんらん、夜も昼も
も鐘が鳴いてへた。」即ちは今を
去る六、七三年の昔、即ち弘安四年
元の国が十四万の大軍をようし、
九州博多に廻來した所謂元寇に對
して我が国民の口から叫び出され
た驚きの声である。當時鎌倉幕府
の執權職としてこの非常困難の打
開に挺身した一世の英傑北条時宗
は年十八才であつた。朝廷におか
もられては専ら神仏の加護により
この危機を脱出すべく、全国の神
社仏閣に令して敵國調伏の祈願を
懇請されたのである。我が三州に
ては川内、の新田八幡、国分八幡

するはずがなく二回三回の国書も
断然送けた。文永十一年遂に交戦
状態に入り十月五日三万の兵は九
百余艘の船に分乘して對馬の佐須
浦に殺到砲撃を侵し博多灣に侵入
した。太宰府は幕府に急報すると
共に九州管内に檄を飛ばした。十
月十九日一部は博多の西方今津に
上陸し翌二十日博多に迫つた。我
が將士はいずれも奮闘したが、戰
術の相違から苦戦状態となつた。
即ち敵は太鼓の合図にして集團
的に行動し、銃砲と彈丸を爆發し
る戰術に對し、我が軍は渾身以來
の一騎打の勝負で臨んだ爲容易に
包圍される所となり、且重い甲冑
に進展も自由ならず、弓矢刀劍の

いた其の辛苦は全く筆詰に尽し難
いものがあつたであらう。見よ。
今津に現存する三千五丁の防塁は元
根古人の手になる辛苦の結晶であ
る。六百八十年の今日まで微動が
もせず元寇の面影をといめていま
も。

○弘安の役と祿鷹氏の奮戰
開校の八年後、弘安四年に至り予
想は的中して時局は愈々切迫せし
むるのを待った。此幕家四代、時
清親は南朝の hands を率ゐる勇躍社
にツイた。時は弘安四年五月二
十一日百艘からなる元軍先鋒隊
壹枝隊に馬に戦馬をひらき八月五
日は沿岸の石臺に戦線を布き警戒
のすくく其の上陸を阻止した。博

初め開闢神社、日置の冠簪等の著名の神社及び諸郷の杜寺あけで祈願に熟中した。由來我が三州の地は往古より大陸との往来も繁く、其の位置大陸の對岸にある点より敵軍上陸地点の予想地に到り、阿多地方が有力視されるに到り、幕府は蒙古の來艦に備ふべしと嚴命した。

我が根占地方も其の危険性はあつたらしく、領主祿澤清親は佐多の高木城にあつて当地方の海防を嚴にし杜寺祈願を施行したので、村人は海に注がけ敵國降伏の祈願

つ先般の経験を生かし、河野通有が敵艦上仁其の要害を拙え火を放つて大功をてたのは其の時である。薩國の勇士の奮戦はめざましく、進んで奄岐島より前の洋上に敵をえざんしやました。ことに薩摩に於ては、島津長久、同恵経、比志島時範、河田盛佐、牟木鶴隆、入來院有重、大隅に於ては祿澤清親の諸君は特筆するに充分で後日賞を授けられた。かくて

に肝煎をくだいた。従つて當に於ては宗廟たる河上神社の社頭に
あるいは神川の淵上、諏訪神社に
池田の旗山神社に夜を昼についで
祈願する村人で活況を告した事と
思へた。其の祈願の鐘が夜とな
く昼となき鳴りひき、ここに民
族意識は昂揚して恐怖心は転じて
外敵撃退と結束したのである。
豪口来る。蒙古来る。恐怖から起
ち上れた我等の選ぎ祖先の慈顧の
姿がその素朴な歌の中から吸み取
られるのである。(註)「竹下は
博多効外の竹下庄の事であろ
う。」

○文永の役
元軍の来寇は前後二回にわたる。
即ち一回は文永十一年で二回目は
八年後の弘安四年である。

蒙古(元)の国王忽必烈は文永五
年正月一日、国書を日本にもたら
し「蒙古の属国となり貢物を獻上
するならばそれでよし、さもなく
は征伐するぞ」と威嚇した。昨証
を重んずる鎌倉武士がこれに屈伏
た。交通不便な当時では九州

正證では唐虞なりす形勢不利と
見て幕方一旦水城に退いて防戦観
望はき明日の作戦に備えて

敵は家原を火を放ち炎々たる焰は
千代松原をこがして箱崎八幡を焼
き慈悲な光景であつた。幸なるか
な。其の夜暴風雨となり玄海灘の
激浪天を巻き敵艦多く沈没して死
者一万三千五百人に及んだ。この
役に於ける孫傳氏の活動について
は資料がない。

○防禦の築造と南關人士の活動
かくて第一回の來寇は幸に擊攘し
得たが敵の再挙は必至の勢であつ
たので、幕府は普々と来るべき防
備の策を講じた。其の一は博多海
岸に石塁を築く事であつた。この
勞役は国内全ての郡院郷庄に課せ
られた。當時の文書によるに地所
一段につき一寸の割で賦課され、
この工事に附属する武具及び乱杭
舟楫釘、板敷、桶、征矢、旗、切
立等の材料も徵發された。我が大
隅根占地方に制当された地点は
博多の西方四里にある今津であつ
た。交通不便な当時では九州

月江にないが後醍醐帝降るに
江南軍が到着したての敵は全
船を鷹島に集結し、將に一大大決
戦の機は迫つた。七月二十九日北
州の天候は急變、大暴風雨は玄
洋上に猛威を極め、集結中の敵
は手のほどこそ術もなく翌朝合
のおさまる頃には其の殆んどが
滅するに至り二十余を捕虜にした。
減る敵。此の翌年龜山上皇の御
詠歌に「四方の海渡をまきりと
どかなる我が日の本に春は来に
り」とある。国民の喜びを察す
事が出来る。

○戦後の警固と孫傳氏の功賞
危機は去つたが其の後鎌倉末期
で永年にわたり警備を続行した
孫傳氏は弘安六年より嘉元三年
わたり約二十三年間今津及び今
後浜の警固に任じた。この役に
ける孫傳氏の活躍は幕府のみと
する所となり、其の功賞として筑
国早良郡比伊郷の田地及び長洲
の地所を授けられ歴代相伝した。
〔註〕防衛基底部の幅二十五
高さ三米半の土臺の上に幅二五
高さ二米の石を積み、海面は急
内側は緩に馬の通行が出来る

木場保男

の農法ではいつまでたつても立上れる日はこない。「何とかならぬものか」という前に考えたい。

私は農業振興会員であるが、一家を豊に願う気持は、みんな同じだと思う。そこで来年こそ振興会あたりが部落の先頭に立ち計画し部落に強力に力をつけ進むべきだと思う。戦後十年其の間農業経営はたしかに向上改善されている。まだまだ改善されるべきと思う。町当局ではどう考えて居られるか知らぬが私は次のことを希望したい。

1、各部落毎に農事研究会があること、思うので、必ず月一回位巡回して、その月の農事指導をしていただきたい。私のひがみ

かも知れないが、一部のの人にだけ指導されている感がある。このようではいつになつても、部落や町全体の発展は望まれぬ。

2、町の農事研究会連絡協議会をつくり、体験発表、共進会などの事業をやり、有志が相互に連帯を保つて農業経営の研究ができるようにしてもらいたい。

部落のすみへまで近代農業をひろめるためには以上のことを強く望むのである。机上の理論より、農民の声をつぶさに聞くことが必要であると信ずる。

農業振興会こそ部落の先頭に立ち指導して悪いと誰がいうであらうか。(鳥浜農業振興会会長)

前田經濟課長談

1については、お説の通り農事研究
会、振興団体には、重点的に指
導、ご相談に応じられているつもりで
すが、会合などを開かれる際、より
密に指導が出来るように協力をお
願ひいたします。

崎
浜
俊
郎

戦前の畜産は、云はゞ、商業畜産ともいへばきもので、満州、支那（中国）から輸入された安い飼料を家畜に与へ、農家の現金収入を得る形で行われた。ところが戦時に入つてから購入飼料に頼つていた弱点が指てきされ、自給飼料をもとにしたいやゆる「有畜農業」の在り方が強く叫ばれたのであります。即ち我國の将来の畜産は、一般農業とかけはなれた過去の姿ではなく、農業とかく結びついた健全なもの、云いかへれば農業経営の改善と生産力の増大に寄与する一つの生産部門として農業生産機構の中に織込まれるべきであります。

農家における牛馬の使用日数は、年間を通じ耕作運搬など僅かに三〇日か四〇日くらいで、あとの三三〇日くらいは唯腹肥をとるために糞尿をたれているに過ぎないで、す。日数を基準として考へてみると家畜の第一の役割は厩肥をとることで、畜畜といわれるゆゑんです。農家のみなさんが、「牛馬を飼わんと、堆肥がとれないか」というのはこれを裏書きしています。ところが果して当町の家畜はこの「畜畜」としての役割を十分果しているか云々と、残念ながらさきに非すと云わなければなりません。

一体、家畜に飼料を与えて、そのチツン分が糞尿中に出る割合は別表の通りです。

これで見ると、飼料中の「チツン」の大部分は尿の中に出てくることがわかります。この尿が十分に利用されれば、丁度硫酸の製造機械を一台持つていけるようなものです。ところが、この大事な尿がほとんど利用されず、畜舎の床にのみ込み、或はアンモニアとなつて揮発してしまいます。いわゆる「宝の持ぐされ」で、不足を肥に頼つ

| 飼料中の要素の排泄割合 | | | (別表) | |
|-------------|-----|-----|------|--|
| | 尿中% | 糞中% | 計% | |
| 休息中の馬 | 57 | 43 | 100 | <p>ているわけです。これを十分に利用するために、畜舎をコンクリートで張り、尿を外に流すようにしてこれを溜桶にみちびき、密閉して雨水が入らないようにしておきます。これを二・三倍にうすめ、燐酸石灰を液重量の三・五%加えて随時使用すればよいわけです。また、もうと自給肥料を余計とるには糞豚をとり入れることがよく牛馬飼育の農家が豚が飼えるのに「牛馬がやせる」と云つて取り入るれないが、陸稲、粟、そばなどは台風にあえば大した被害ですが、</p> |
| 役馬 | 71 | 29 | 100 | |
| 肥育馬 | 74 | 23 | 97 | |
| 肥育牛 | 79 | 17 | 96 | |
| 肥育豚 | 61 | 25 | 85 | |
| 肥育牛 | 57 | 18 | 75 | |
| 乳子 | 26 | 5 | 31 | |

11月20日
ま で

農家にとつて、最も忙しく大事な收刈期になりました。警察はこの時期に、みなさんが安心して仕事が出来よう、秋の防犯運動月間として、いろいろ手をくわして防犯活動を行つていきます。これについて、農家に限らず、広くみなさんで理解と、ご協力をお願いいたします。

現在県下には毎日六五七件の犯罪が発生し、犯が多く、毎年農繁期になると増加するようはいろ／＼手をつくしてこれらの犯罪とたた

すが、今年に入つてから四ヶ町村でも既に五六件の窃盗事件が發生しています。盜まれてから騒ぐより、盜まない中の予防こそ一番大事です。窃盜犯の中、六十一%盜まれた側にも責任があり、戸締りその他の手落ちがります。

夜、屋外に干物や、自転車、穀物などをおいたまゝのが案外多いようです。盜まれる前に十分ご注意下さい。

増える少年の兇惡犯

般的に見て社会環境に左右されるものが大部分とは云えましょう。警察や学校などの仕事とないで、おたがいに一人々々が親としてそれ

で心掛けることによって救えるのではないでしようか

豚の登録検査

豚の登録が十二月にありま
す。十一月以上の資格豚は母豚
証明書を添えて母場経済課
に申込んで下さい。

● 豚の仔が生れたら十五日
役場経済課または農協に、
母口、頭数を口頭か文書
して下さい。この届けがない
の検査は致しません。検査
でに理付した種牡豚管理者
が証明書をもらつて検査を
すること、投場か農協に申込
下さい。検査は生後六〇日ま
です。所有者宅を訪問します。検査
の前に離乳したものは資格
がありません。注意下さい。

● その他いろいろなことば投
員にご相談下さい。

十一月の農作業

上旬

- ◎ 水陸稲の收かく、脱穀調整
- ◎ 秋そば、秋大豆、粟收かく
- ◎ えんどう、ほうれん草、春青
根播種、玉葱定植
- ◎ 甘藷收かく貯蔵 中旬以降前
◎ 麦類播種準備（品種選択、種子
消毒）
- 水陸稲早期栽培予定地は上旬に
播種を終ること。品種は鹿児島県
裸、一般は中旬から来月上旬まで

十一月の農作業

なたねは石灰分の要求が多い。
反当一五メから二〇メくらい元
肥にやる。

◎温州ミカンの收かく 中下旬
收かくの早晚は次の年の花芽着生
に影響する。今年結果が多過ぎる
樹はなるべく早くとる。收かく遅
了前二―三週間以内から收かく直
後まで、**札肥**をやる。 **ぼんかん**
は十二月、全面撒布六割、深層
肥四割の二本建とする。

交通事故は防げる

規則を守りま

昨年秋、下関市で四三件の交通事故が発生し、七十九名の尊い生命が奪われ、百十九名が負傷しています。この事故の大部分は、自動車によるもので、これも一人々々が規則を守り注意し合うことで、自動車によるものは防げるのです。我が四力町村でも、昨年死者一名負傷者三名という事故が発生しましたが、この原因を探ってみてもお互いに十分と注意したに防げたのであろうと思われる事故だけでした。みなさんにも関心をもつて協力下さるようご依頼いたします。

長時間演奏レコードのこと。いままでのレコード（標準型）は一分間の回転数が七八分の、これをもつと遅くして長時間聞けるようにしたものである。

どんな社会も消費すると同時に生産することやめない。このように生産は連続的にくり返されねばならず、生産の過程は同時に再生産の過程でもある。

資本主義社会では勞力力は商品であるといふのは、その勞力力ま

厳密には、一分間三三三工ものだけを用いるが、普通四のものも含めて呼んでいる。三三ニール製だから軽くて弾力も落ちては割れない。LP三回転転なら、十二片で片面三分、四十五回転は十二片五分。その特長はすばらしいと出ること。欠点はホコリを出す。一たんついたホコリはくとれず傷のもとになる。段がや、高いことである。

国民の衛生問題
は、最近高血圧
とガンに移つて
いるが、厚生省
が調査したこ
ろによると、脳

長命の原因

そこで厚生省では、栄養強運動を奨励して「正しい食べ方」を普及する計画を立てているが、要するに米食にかならず、粉食も油も動物性食品も野菜もたくさん食べることに外ならない。なお栄養

生産再生拡大

東北地方、どこに米
づいてゐる地区に多い。これ
で長命の部落は、海岸やこ
いところにも多く、鹽鹼地は少
まり短命村と長命村の生活
異は、勞作、睡眠、疲勞、
飲酒ではなく、食品のとり
出され、短命村の多くは米
地裡で米や野菜を主な食糧
づいて米がわかつた。そし
村に共通している食生活は
米といふことである。

大豆が豊富である。これ
質の蛋白質がとられる。
つて野菜が豊富で、こと
ミン、ミネラルに富む人
瓜、長いも、ゴマ、海苔
營養食品が多くとりれて
偏重でなく、麦、そば、
の雜穀を食べてゐる。

願
にある礦泉水や、散布
応全部組合に返納して
来年にそなえて整備
行つてゐる。

三河國樂共済組合

不足による病人は案外に多く、國民
の三割といわれ、農村が二五
都市が一九程度で、多いのは口
角炎、ビタミンB不足、胸反射消
失、ビタミンB不足、貧血などで
ある。

米つくりのお百姓さん達にも、将
棋や碁のように、その技術によつ
て級、段、名人の称号をふくりお
米の増收をはからうという明るい
農村の話題がある。青森県の農業
関係者が組織する「農事懇談会」
がその発起人で、このフランクの正
式名は「米増收段位制」早速同県
黒石市の県農試同会事務所で開
自働のお百姓を募つたところ自
己のせんに殺到した。段級位の審
査は收量によるもので、最
低の五級は反三百以上、
あと二斗増すごゝを級を進め、
一級は三百八十斗、初段
四石、それ以上は二斗五升
増すごゝに一段づつ昇格す
る。名人はその年の最高收
量をおけた者になるといふ
しくみ、さてみなさんは何
段ぐらゐになりますか。

米つくりの段位制